

LGWAN-ASPサービスのご紹介 株式会社NTT データ

MPN 収納機関共同利用センター pufure[®]

ASP コード：A801066 分類：決済基盤
種類：アプリケーション及びコンテンツサービス 提供地域：全国

「いつでもどこでも」公金の支払いが可能に！ pufure（パフール）で収納手段の多様化を効率的に実現

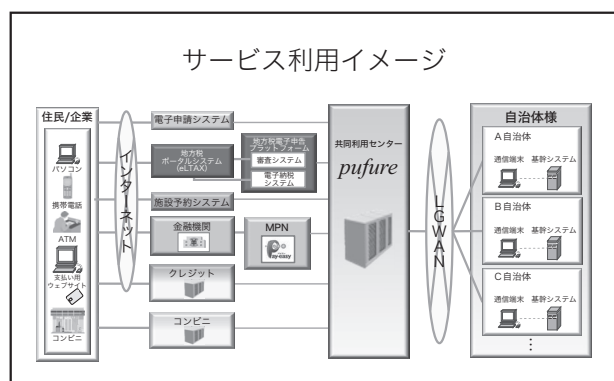
pufureはマルチペイメントネットワーク（MPN／ペイジー^{※1}）の利用に必要な通信サーバの機能をご提供します。また、各種システムや他の決済基盤との連携機能により、収納手段の多様化をトータルにサポートします。

■ ペイジーとは

ペイジーとは税金や公共料金を、ATM、パソコン、携帯電話等を利用して「いつでもどこでも」簡単な操作で支払いができるサービスです。また、支払内容を他人に見られずに支払いができる、間違った支払いをしないよう確認ができるといった利点もあります。一方、地方公共団体では、住民サービスの向上、収納率の向上が期待できるほか、収納結果を即座に電子情報で把握できるため、督促の減少等、収納コストの削減に貢献できます。ペイジーの導入にあたっては、個別構築と比較して導入期間が短縮でき、更に初期導入費用が軽減されるため、共同利用型サーバpufureをご利用いただくと効率的です。

■ pufureの特長

① 地方公共団体における豊富な実績



pufureは、平成21年12月1日現在35団体が利用中です。豊富な実績により確立された作業手順や蓄積されたノウハウにより、導入時には確実なサポートができ、安心安全なサービスをご提供します。

② 各種システムとの柔軟な連携

pufureは、電子申請やeLTAX電子申告と連携する支払いにも対応しています。主な電子申請LGWAN-ASPとの接続実績があり、電子収納がご利用いただけます。なお、eLTAX電子納税導入の際は、pufureと電子納税システムをあわせてご提供できます。また、電子申請・申告後の支払には、『情報リンク方式』での支払が便利であり、『情報リンク方式』導入の際は、pufureとMPN情報リンクサービス^{※2}をあわせてご提供できます。

③ 多彩な決済基盤との連携

pufureはコンビニ、クレジット、モバイルレジ[®]収納との連携を行っており、住民の方が持つ決済手段に対する多様なニーズへの対応に貢献します。pufureの連携機能をご利用いただくと、回線をLGWANに統一、データ形式を一本化できます。その結果、基幹システム改修の軽減、収納情報の一元管理、運用の統一が可能になります。また、pufureは決済基盤の段階的な導入にも対応できます。pufureは、今後も、地方公共団体の電子収納における様々な利用シーンを考慮し、サービスの充実に努めます。

※1 ペイジーは、日本マルチペイメントネットワーク運営機構が運営するマルチペイメントネットワークにより実現されているサービスです。

※2 MPN情報リンクサービスとは、電子申請・申告後の支払に便利な『情報リンク方式（収納機関サイトで確定した金額等の情報をネットバンキングに引き継ぎ、払込処理を行う方式）』の導入を、頻発する金融機関URLの更新といった運用負担を掛けずに実施いただけるサービスです。

お問い合わせ先
株式会社NTTデータ
第一公共システム事業本部
e-コミュニティ推進事業部 第二営業部
TEL 0120-123-822 FAX 03-3532-0910
E-mail pcseegov@bp.noanet.nttdata.co.jp